



地域で守る産後メンタルヘルスケア 「支える・つなぐ」ための考え方と実践

著：西園マーハ文
発行：岩崎学術出版社
定価：3080 円（本体 2800 円＋税 10%）

『産後メンタルヘルス援助の考え方と実践』を 13 年ぶりに改訂。精神科医である著者が都内の保健センターで保健師、臨床心理士とともに 20 年以上実施した産後のメンタルヘルス相談での経験をもとに、地域での現状と対応を論じる。質のよい支援を良いタイミングで、当事者にも納得いく形で届ける方法を、当事者とともに考える一助となる。



精神科アウトリーチ 心の病に寄り添い、地域で暮らす

著：近江翼
発行：星和書店
定価：1760 円（本体 1600 円＋税 10%）

精神疾患を抱えながら医療につながることもなく、孤立無縁に過ごしている人や家族は数多い。そんな人々を対象に、精神科医・看護師・精神保健福祉士・心理士などの多職種がチームを組んで住まいに向き、医療と生活の両面から地域での生活を支援する「精神科アウトリーチ」について、分かりやすく解説。診察室に座していただけでは救うことのできない患者や家族を、医療や福祉に結びつけるための架け橋となる情報が満載。



あらゆることは今起こる

著：柴崎友香
発行：医学書院
定価：2200 円（本体 2000 円＋税 10%）

私の体の中には複数の時間が流れている。眠い、疲れる、固まる、話が飛ぶ、カビを培養する。それは脳が励ましの歌を歌ってくれないから？—— ADHD と診断された小説家は、薬を飲むと「36 年ぶりに目が覚めた」。私は私の身体しか体験できない。にしても自分の内側でいったい何が起こっているのか。「ある場所の過去と今。誰かの記憶と経験。出来事をめぐる複数の視点。それは私の小説そのもの」と語る著者の日常生活やいかに。SF じゃない並行世界報告！

手軽な
+1



君はどんな看護師になるのだろう

多様な価値観と向き合う、これからの看護師に必要な知識と教養

編著：高橋優三、著：岡本華枝、宮田靖志、藤野ユリ子、内藤知佐子
発行：医学書院
定価：2420 円（本体 2200 円＋税 10%）

本書の目的は、漫画を読むことで医療現場を疑似体験し、起こっている問題に気づき、解決策を自らの力で考えること。看護業務、教育・研究、進路・キャリア、患者理解、チーム医療、医療体制・制度に分けて問題が提示され、その解決策を考える。